

<メモ>



おなまえ

2008. 2. 23

<2007 生き物の棲み処づくりプロジェクト>

きみも

はかせ

とく博士になろう！！

ひがた とり

—干潟にくる鳥ってどんなとくなの？—



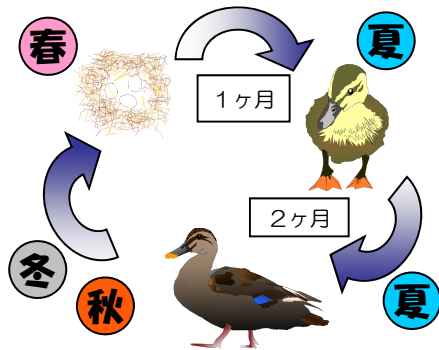
国土交通省

国土技術政策総合研究所 海洋環境研究室

# ①カルガモの生態について<sup>1)</sup>

カルガモは、全身が茶褐色でくちばしの先が黄色の模様がある鳥で、日本では、平野部から山地にかけての水辺に1年中暮らす鳥です。餌は草の葉・種子・茎・水中の藻などを食べます。

ほとんどのカモと同じように、一夫一妻で毎年つがいとなり春から夏にかけて繁殖をします。メスが水辺近くの草むらに巣をつくり、1回の産卵で10個程の卵を産みます。卵は親鳥に抱えて温められてから1ヶ月程でふ化をし、その後2ヶ月程で飛ぶことができるまでに成長します。



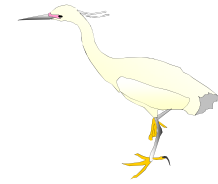
# ②河口・海浜・干潟等に出現する鳥について<sup>2)</sup>

河口・海浜・干潟等に出現する鳥類について下の表に示します。

タイプ	移動速度	主要種
留鳥	同じ地域に1年中生息する鳥	ウミネコ、カルガモ、アオサギ、コサギ
夏鳥	春に日本より南の地域から渡ってきて日本で繁殖して、秋には南の地域へ渡って過ごす鳥	コアジサギ、ツバメ
冬鳥	春から夏に日本より北の地域で繁殖して、秋に日本へ渡ってきて越冬し、春には北の地域に戻る鳥	ユリカモメ、セグロカモメ、オナガガモ、ヒドリガモ、オカヨシガモ、ハシビロガモ、コガモ、ズズガモ、ハマシギ、シロチドリ
旅鳥	日本より北で繁殖し、日本より南で越冬し、日本には春の北上と秋の南下の際に立ち寄る鳥	オオソリハシシギ、チョウシャクシギ、ダイゼン、アオアシシギ、ソリハシシギ、キアシシギ、キョウジョウシギ、トウネン、ミュビシギ

【引用文献】  
 1) 順応的管理による海辺の自然再生 (2007) 国土交通省港湾局監修 海の自然再生ワーキンググループ 著  
 2) 外務省HP 外交政策-地球環境-ラムサール条約  
 3) 海の自然再生ハンドブック (2003) 第2巻 干潟編 国土交通省港湾局監修 海の自然再生ワーキンググループ 著 ぎょうせい

# ③芝浦運河に棲んでいる生き物たち【とい編】<sup>1)</sup>



**コサギ(体長60cm前後)**  
 全身が白色で脚、首、くちばしが長く夏には頭に2本の長い羽が現れます。餌は、魚やカエルなどを食べます。



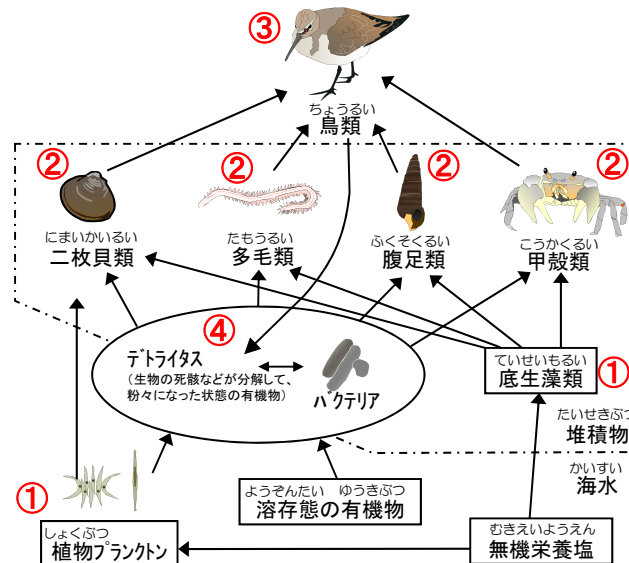
**カワウ(体長80~90cm前後)**  
 成鳥では全身が黒色ですが、幼鳥は胸が白っぽい。餌はほとんどが魚で、捕獲する時に1分以上水に潜ることもあります。



# ④ラムサール条約ってどんな条約なの？<sup>3)</sup>

水鳥の多くは国境に関係なく渡りをするところから、国際的な取組が求められます。特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地及びそこに生息・生育する動植物の保全を促し、湿地の適正な利用を進めることを目的として、本条約が作成されました。(1975年12月21日発効)

# ⑤干潟生態系の食物網のイメージ<sup>4)</sup>



干潟の生態系は、絵のようなイメージです。

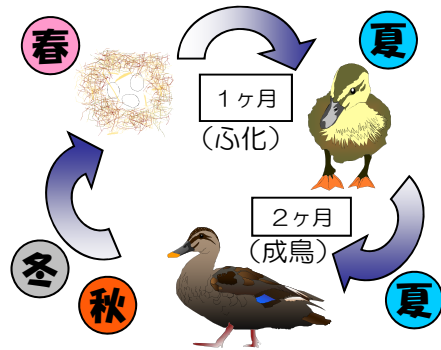
- ①海中で光合成により有機物を生産する植物プランクトンや底生藻類
- ②それらを食べる生物
- ③鳥類(生態系の頂点)
- ④有機物を分解するバクテリア

このような物質の循環が日々干潟では行われています。

# ①カルガモの生活について

○カルガモの生態について絵をみて答えてみよう

- ・暮らしている場所はどこですか・・・
- ・卵をどの季節に産みますか・・・
- ・卵から何ヶ月でふ化しますか・・・
- ・ふ化してから何ヶ月で成鳥になりますか・・・



【カルガモの生態】  
 カルガモは、全身が茶褐色でくちばしの先が黄色の模様がある鳥で、日本では、平野から山にかけての水辺に1年中暮らす鳥です。

# ②河口・海浜・干潟等に出現する鳥について

○どの鳥がどんなタイプの鳥か線でつないでみよう

りゅう ちょう	なつ どり	ふゆ どり	たび どり
留鳥	夏鳥	冬鳥	旅鳥
■	■	■	■
■	■	■	■



# ③干潟生態系の食物網のイメージ

○干潟の生態系は、絵のようなイメージです。絵をみて答えてみよう

- ① 光合成により有機物を生産(2つ)・・・
- ② ①を食べる生物(4つ)・・・
- ③ 干潟における生態系の頂点(1つ)・・・
- ④ 有機物を分解(1つ)・・・

このような物質の循環が日々干潟では行われています。

